

1. 文化財管理事業

文化財を適切に保存・管理するとともに、文化財の価値に応じた公開・活用を行う。

伊豆の国市は、様々な時代の歴史文化が重層的に蓄積し、日本史における時代の変革の端緒を開いた地域であり、世界遺産韮山反射炉をはじめとする史跡や有形・無形の文化財が市内の至る所に存在しています。

現在の伊豆の国市郷土資料館では、出土品の展示や解説パネルの設置等を通じて歴史文化の紹介を行っていますが、施設の狭さや温湿度調整機能の低さなどの課題などもあり、国指定重要民俗文化財である山木遺跡の生産・生活用具をはじめとする貴重な歴史資料を十分に公開・活用することができていません。

また、市内の史跡などが集中して立地する場所から離れているため、学校教育での活用においても十分に機能していない状況にあります。

そのため、令和7年度末までに、市内の主な史跡などの中心に位置し、韮山駅にも近接している韮山時代劇場大駐車場内に、新たな文化財展示施設を設置することとしました。

本施設は、「歴史に学び、現在と向き合い、未来を拓く人を育む」を基本理念としており、市民にとって重要であると同時に国民にとってもかけがいのない本市の文化財の公開・活用を通じ、本市の歴史文化の全体像を伝えるとともに、地域の学習拠点として、さらには、交流や歴史・観光周遊の拠点としての活用を図っていきます。



(外観イメージ)



国指定重要有形民俗文化財
山木遺跡の生産・生活用具



国指定重要文化財
いしびつわかどねり
石櫃 若舎人の刻銘がある
附 須恵器一括